

## 平成29年度農作物病虫害発生予察注意報第2号

平成29年8月24日  
山口県

病虫害名 果樹カメムシ類  
(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)  
対象作物 ナシ、リンゴ、カンキツ等果樹全般

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 8月下旬～10月

3 発生程度 多

### 4 注意報発令の根拠

- (1) 予察灯(県内5か所、7月21日～8月20日合計)における果樹カメムシ類の誘殺数は1,038頭(平年570頭)で平年に比べやや多く、特に8月中旬以降に急増した(図1)。誘殺された種の内訳は、クサギカメムシ423頭、チャバネアオカメムシ330頭、ツヤアオカメムシ285頭であった。
- (2) 果樹カメムシ類の主要な餌となるスギ、ヒノキの産果量調査では両樹種とも着果が平年よりやや多かったため(図2)、増加している可能性が高い。
- (3) 今後、果樹カメムシ類の活動が活発になり、果樹園へ飛来することが予想される。

### 5 防除方法

- (1) 果樹園での飛来状況に注意し、飛来を確認したら直ちに薬剤散布を行う。有袋栽培であっても、果実肥大により果実が袋に接した時期に加害されるので注意する。
- (2) 薬剤散布後も園内を観察し、再度飛来を確認した場合は、別添表「主な薬剤の使用方法和残効期間」を参考に追加の散布を行う。

### 6 防除上注意すべき事項

- (1) これから収穫期を迎える果樹が多いため、収穫前日数や使用回数を考慮して、事前に薬剤を準備する(別添表参照)。
- (2) カメムシ類に対する薬剤散布によってハダニが増殖する可能性があるため、カメムシ防除を行った場合はハダニの発生状況に注意する。
- (3) 薬剤散布の際は、農薬使用基準を遵守し、周辺作物への飛散を防止するとともにみつばち等の有用生物へ危害を及ぼすことがないように十分注意する。

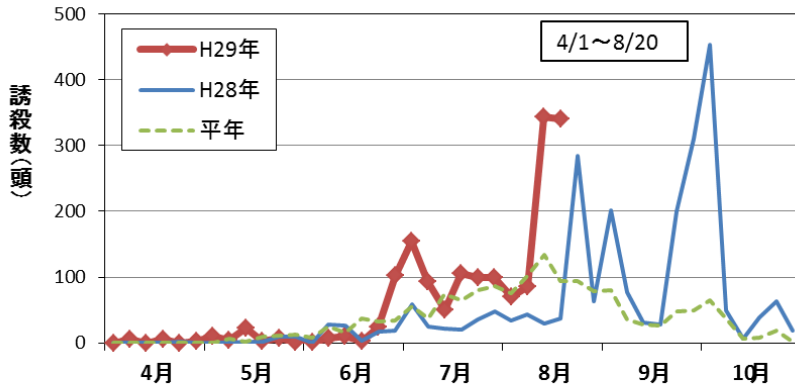


図1 果樹カメムシ類の予察灯への誘殺数推移(県内5か所合計)

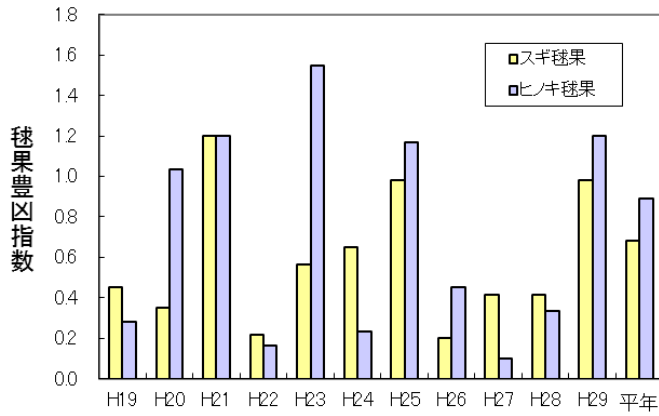


図2 6月下旬におけるスギ・ヒノキ毬果の豊凶調査結果

※毬果豊凶指数: 着果量が少を0、中を1、多を2として評価した10樹の平均値。県内6ヶ所調査。

(参考：主要な果樹カメムシ類と被害果実)



チャバネアオカメムシ



ツヤアオカメムシ



クサギカメムシ



リンゴの被害



ナシの被害

表 カメムシ類に登録のある主な薬剤の使用方法和残効期間

(平成29年8月23日現在・山口県病害虫防除所作成)

系統 ※1	農薬名	使用濃度		登録のある作物					残効期間 ※3 (被害防止 効果)	
		収穫前日数		ナシ	モモ	リンゴ	カキ	カンキツ		キウイフ ルーツ
		使用回数※2								
ネオニコ チノイド 4A	アクタラ 顆粒水溶剤	2000倍		2000倍	2000倍	2000倍	2000倍	2000倍	10日程度  * アドマイヤー 顆粒水和剤は 10000倍の場 合、残効がや や短くなる	
		前日		前日	7日	3日	14日			
		3回以内		3回以内	2回以内	3回以内	3回以内			
	アドマイヤー 水和剤	1000倍		1000倍		1000倍				
		3日		3日		7日				
		2回以内		2回以内		3回以内				
アドマイヤー フロアブル			5000倍			2000~ 5000倍	2000倍			
			3日			14日	前日			
			2回以内			3回以内	2回以内			
アドマイヤー 顆粒水和剤*	5000~10000倍		10000倍	5000倍	5000~ 10000倍	5000~ 10000倍				
	3日		3日	3日	7日	14日				
	2回以内		2回以内	2回以内	3回以内	3回以内				
アルパリン(スタークル) 顆粒水溶剤	2000倍		2000倍	2000倍	2000倍	2000倍	1000~ 2000倍			
	前日		前日	前日	前日	前日	前日			
	3回以内		3回以内	3回以内	3回以内	3回以内	3回以内			
ダントツ 水溶剤	2000~ 4000倍		2000~ 4000倍	2000~ 4000倍	2000~ 4000倍	2000~ 4000倍	2000~ 4000倍			
	前日		7日	前日	7日	前日	前日			
	3回以内		3回以内	3回以内	3回以内	3回以内	3回以内			
ピレスロ イド 3A	テルスター 水和剤	1000~ 2000倍		1000倍		1000~ 2000倍	1000~ 2000倍	10日程度		
		前日		14日		14日	前日			
		2回以内		2回以内		2回以内	3回以内			
	テルスター フロアブル	3000~ 6000倍		3000倍	3000倍	3000~ 6000倍	3000~ 6000倍		3000倍	
		前日		前日	前日	3日	前日		前日	
		2回以内		2回以内	2回以内	2回以内	3回以内		2回以内	
MR. ジョーカー 水和剤	2000倍		2000倍	2000倍	2000倍	2000倍				
	14日		前日	14日	14日	14日				
	2回以内		2回以内	2回以内	2回以内	2回以内				
マブリック 水和剤20	2000倍				2000~ 4000倍	2000~ 4000倍				
	30日				30日	45日 ※21日				
	2回以内				2回以内	2回以内				
アグロスリン 水和剤	1000~ 2000倍		2000倍		1000~ 2000倍	2000倍				
	前日		前日		前日	7日				
	3回以内		5回以内		3回以内	3回以内				
アーデント 水和剤	1000倍		1000倍		1000倍					
	7日		前日		7日					
	3回以内		3回以内		3回以内					
有機リン 1B	スプラサイド 水和剤	1500倍			1500倍	1500倍	1500倍	1~2日		
		(有袋)7日 (無袋)21日			30日前	30日	90日 ※14日			
		(有袋)3回以内 (無袋)2回以内			2回以内	3回以内	4回以内			
スミチオン 水和剤40	800~ 1000倍		800~ 1000倍	800~ 1000倍	800~ 1000倍					
	(有袋)14日 (無袋)21日		3日	30日	45日					
	6回以内		6回以内	3回以内	3回以内					
フェニル ピラゾー ル 2B	キラップ フロアブル			2000倍	2000倍			7~10日		
				14日	7日					
				2回以内	2回以内					

※1 数字と記号はIRAC(殺虫剤抵抗性対策委員会)による作用機構分類コード

※2 同一成分の薬剤は使用回数を通算して数えること(散布の場合)。

※3 残効期間は他県、日本植物防疫協会およびメーカーのデータを参考に作成した。  
あくまで目安であり、天候などの条件で短くなる場合がある。